

教務だより

2018年3月号
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

ここで終わること、ここから始まること。

～卒塾式プログラム「ご挨拶」より～

茗溪塾塾長 宇野 雅春

受験が終わり、季節が春へと向かっています。

長い受験の季節が、あっけなく終わってしまうと、心にぽっかりと穴が開いたような倦怠感に襲われることがあります。頑張らせきれなかったこと、頑張ったけど残念だったこと、だめだったことばかりに心が奪われます。

でもよく考えてみると、受験で合格しても、それでハッピーエンドではありません。新しい中学校生活が、次は始まります。

受験で思うようにいかなかった人が、そこを反省して次に進むことが、より大きな力になることも、数多く見てきました。ですから、受験が終わった今、さらに前を見て進んでほしいというのが正直な気持ちです。

終わったことを「振り返る」ことは大切なことですが、「引きずる」のは意味がない気がします。脳科学では、「後悔」が次の行動にプラスの意味を作ると、言われています。「後悔」することは決して悪いことではないということです。これはくよくよと「引きずる」ことではありません。そこから新しい道が開けるといことなのです。

今日、卒塾を迎える皆さん。今日でひとつのことが終わります。でも、それを次の長い人生のばねにしてほしいと思います。ここから始まることの方がとても大切なことになります。皆さんの前途を祝う卒塾式にするために、ささやかながら準備をしてきました。

思い出のページに加えていただければ、幸いです。

受験で学んだこと。ちょっと辛いけど「やれば、できる！」を大切にしてください。「ピンチな時ほどそこにチャンスはある！」これは本当のことです。

皆さんの素晴らしい未来に、エールを送ります。

2018年 3月吉日

